



お茶香るまち

No.193

# さやま 議会だより

平成29年5月

## 各委員会の取り組み 市内視察



台風9号の被害状況を確認  
総務経済委員会



狭山台中学校で学習支援事業を調査  
文教厚生委員会



新設道路の確認  
建設環境委員会



### 3月定例会

市長の施政方針	各会派から市長に質問	2~3
議案質疑	安心な暮らしのために意見書を提出	4~5
討論、採決の結果		6
常任委員会		7
一般質問(16人)		8~15

狭山市議会ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/gikai/>  
 狭山市公式モバイルサイト <http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/>

議会だよりは定例会(年4回)終了後に発行します



# 安心な暮らしのために意見書を提出

狭山市立中央図書館



狭山市駅西口から見た旧中央公民館等跡地

3月定例会  
2月24日～3月21日

第1回定例会では、「平成29年度予算」や「財産(旧中央公民館等跡地)の処分」など、23議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決し、すべての議案を原案のとおり承認・同意・可決しました。

## 今回可決された意見書

議員提出議案第1号  
精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書(要約)

昨年4月「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、埼玉県でも身体・知的・精神の3障害者の支援を進めている。一方で、鉄道、バスなどの公共交通機関では、運賃割引制度を設けているが、精神障害者を対象とするものは少ない。障害者の自立や社会参加を促進し、共生社会を実現するためには、公共交通機関などの移動手段の確保が必要不可欠であり、これは精神障害者であっても同様である。

よって国においては、精神障害者も身体障害者や知的障害者と同様に、運賃割引制度の適用対象とすることを働きかけるよう強く要望する。

議員提出議案第2号  
国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書(要約)

国民健康保険制度安定化のため、平成30年度からは県が市町村と国保の運営を担うこととされている。

国保を持続可能な社会保障制度として維持するため、財政基盤の強化が不可欠であり、国保の財政基盤強化・制度の安定化のため、以下の事項を国に強く要望する。

- ①国費拡充の実施とともに、国保財政基盤の拡充・強化を図り、国の責任と負担において実効ある措置を講ずること
- ②低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化すること
- ③医療費助成制度に対する国庫支出金の減額措置を廃止すること

## 主な議案審議

◆財産の処分  
旧中央公民館等跡地を処分するもの

Q 住民説明会では、どのような意見があったのか。

A 民間事業者を活用して整備する方針とした理由、定住促進施設であるマンションの周辺地域への影響、にぎわい施設の機能と継続的な運営、跡地の一部が土砂災害警戒区域に指定されていることへの対応など。一部に反対意見はあったが一定の理解は得られたと認識している。

## 委員会提出議案

◆委員会条例の一部改正  
組織改正に伴い、所管する課名を変更・削除するもの

提出委員会 議会運営委員会

## 議員提出議案

◆精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書  
提出議員 金子 広和

◆国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書  
提出議員 猪股 嘉直

## ◆委員会条例の一部改正

地内公園整備工事費で整備する3公園の概要は。

A 29年度は、①東口自転車駐車場に隣接する公園の整備、②三柱神社に隣接する公園と③その北側にある公園の設計業務を予定している。①は子ども達が遊べ、地元のお祭りなどにも利用できる公園、②は整備前であった児童公園を考慮した公園、③は自然形態を考慮した公園として検討していきたい。

## 介護保険特別会計

Q 自立支援型地域ケア会議が目指すものは。

A 介護保険制度の理念である個人の尊厳の維持と自立支援を実現するため、生活機能の維持改善を行うケアプランとすることを多職種で検討する。

Q 運営方法は。

A 29年度から毎月定期的な開催予定。ケア会議で検討したプランは、おおむね6か月後をめどに実際の効果の評価会議も実施し、個別性と専門性の高いケアマネジメントが提供できる体制づくりを進める。

Q 住民説明会で寄せられた意見を、計画に反映できたものはあるか。

A 土砂災害警戒区域の指定を解除するための対応を行うこととした。また、マンション建設に伴う周辺環境への配慮は契約書に規定を設け、引き続き、事業者に強く指導していきたい。

Q 処分価格の妥当性は。

A 事業者の提示価格(3億8千万円)から、土砂災害警戒区域の指定解除工事の追加費用(3千540万円)を差し引いた、3億4千460万円が処分価格となっている。市が設けた最低売却価格の1億6千240万円を上回る価格であった。

◆一般会計補正予算(第7号)

Q 入間川とことん活用プロジェクトの全体像は。

A 潜在的な観光資源である入間川の親水空間に安らぎとにぎわいを創出することにより、新たな人の流れを生み出し、交流人口の増

## 一般会計予算

平成29年度  
歳入歳出  
430億1千600万円

Q 旧入間中学校と旧東中学校の撮影などの使用に伴う行政財産使用料は。

A 旧入間中学校は、すべての土地・建物を使用した場合、1日12万4千300円となる。また、旧東中学校は、すべての土地・建物を使用した場合、1日15万9千300円となる。

Q 親元同居・近居支援事業で、市内転居者は補助の対象となるのか。

A 29年4月1日以降に市外から狭山市に転入する子世帯を対象にしたもので、市内に住宅を購入または同居のために増改築した場合に補助金を支給する。事業の趣旨から、市内転居者は現段階では補助金の対象としない予定だが、29年度中に方向性を出したい。

Q 健康長寿埼玉モデル事業の参加内容は。

A 埼玉県が、健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指して推進している健康長寿埼玉モデル事業の推奨プランのうち、日常的な歩数よりも1千歩多く歩くことを目標とする「プラス1千歩運動」と、歩数をポイント換算してインセンティブ(目標達成の誘因)を付与する「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」に参加する。

Q 狭山市駅東口区画整理



Q 富士見小学校のトイレ

A さやまっ子茶レンジスクールが目指すものは。基礎学力の定着や家庭学習の習慣化である。学習支援の充実を図るとともに学校における授業の質の向上に努め、さやまっ子全体の学力向上を推進したい。

# 常任委員会からの活動報告

3月定例会の常任委員会で審査した議案や所管事務調査などの中から、その概要をお知らせします。

◆**所管事務調査**  
インキュベーションセンターの利用について、施設の現状や運用基準の改正案を調査し、これまでの一連の調査のまとめとした。

◆**旧中央公民館等跡地の処分**  
**Q** 土砂災害警戒区域指定の解除に向け、どのように対応していくのか。  
**A** 北側の擁壁部分を約4メートルの高さの強固なものへと改修し、地盤の一部を切り下げる工事を実施する。費用については、当初提案されていた土地の購入代金から差し引く形で市が負担し、施工については事業者が対応することになる。



跡地の視察

◆**学童保育料の値上げ分は事業に充当されるのか。**  
**A** 学童保育室の新増設に伴う人件費や修繕費、延長保育に伴うシステム改修費などに充当する。



◆**待機児童対策の状況**  
**Q** 小規模保育施設2か所の設置スケジュールなどは。  
**A** 鶴ノ木地区のひかり幼稚園と、広瀬地区の武蔵野短期大学附属幼稚園の2園が、定員19名(0歳児3名、1歳児8名、2歳児8名)の小規模保育事業所を整備。平成30年4月に開所予定。

◆**意見交換会の内容**  
意見交換会に参加した14名の会員からは、「不老川に廃棄される犬の糞の問題」「現実の草刈の時期」「不老川の改修計画」などについて意見が交わされました。

◆**昭和以降の不老川の状況**  
建設環境委員会では、裏表紙にもあるように「不老川をきれいにする会」との意見交換会を実施しました。  
不老川は、昭和40年代に流域人口が急増、生活排水が流入し、50年代には「日本一汚い川」として知られることになりました。その後、一部の地域住民で結成された「不老川をきれいにする会」の清掃活動が開始され、行政や地域全体を巻き込んだクリーン作戦へと輪を広げました。  
結成から30年以上が経過した今では、不老川はかつての清流としての姿を取り戻しつつあります。  
汚染を二度と繰り返すことなく次の世代まできれいな不老川を残していくことも私たちの大切な役目であると思っています。



地域の努力で不老川をきれいに

## 旧中央公民館等跡地の売却に伴う安全確保は総務経済委員会

◆**29年度一般会計予算**  
**Q** 公共施設への新電力導入による効果の見込みは。  
**A** 新電力の契約により、基本料金の単価が下がり、市庁舎を含む46施設全体では、年間で約4千900万円の電気料金の削減が見込まれる。

## 福祉と教育の相談体制の充実・待機児童解消に向けた施策文教厚生委員会

◆**福祉と教育の相談体制の充実**  
**Q** 要援護世帯総合支援体制コーディネーターの概要は。  
**A** 社会福祉士資格など有資格の嘱託職員を2名採用し、障害や高齢などの複合的な支援が必要な世帯の支援を行う。

◆**教育相談事業への取り組み**  
**Q** 教育センターの教育相談員が1名増の6名、適応指導教室指導員も1名増の2名となり、相談体制を充実させる。

## 不老川の清流を次代に残すために建設環境委員会

# 討論

議案に賛成・反対します

## ◆平成29年度 一般会計予算



### 賛成討論(要旨)

国庫補助金が想定どおり交付されないなど財源確保が困難な中、効率的で効果的な事業展開のため組織改正し、予算編成に臨んだことは、元気な狭山市を持続するという市長の強い決意を感じ、大いに評価したい。  
 ▶稲荷山環境センターの焼却施設改修・長寿命化 ▶急速な高齢化への「トータルサポート体制」の構築 ▶子育て支援「妊産婦・新生児訪問」小規模保育所整備、富士見小・学童保育室拡充 ▶健康づくりウオーキングポイント制付加事業 ▶都市計画道路、狭山市駅加佐志線、笹井柏原線整備 ▶危機管理監の配置、防災行政無線のデジタル化 ▶計画推進「親元同居・近居支援」▶人口減少と少子高齢化が進む中、市民の納得度を高める「透明性」「細やかな説明と対話」を期待するものである

### 反対討論(要旨)

厳しい財政状況だからこそ、市民に寄り添った施策を充実させて狭山市民や市外在住の方が、住み続けたい、住んでみたいと思える「市民にやさしい政策づくり」を求める。  
 ▶女性の社会進出で待機児童の解消へ保育所の増設を ▶子育てしやすい狭山市へ学童保育料の値下げを ▶難病患者福祉手当の月額支給の復活を ▶事業の見直しは、市民負担がかからないところから ▶入曽地区地域交流施設(仮称)は、公民館の理念や機能の継承を ▶平和意識を肌で感じるため中学生に広島平和記念式典への参加の復活を ▶地域公共交通会議は、臨時の委員や会議の開催、公聴会などを視野に ▶資源物の集団回収促進の仕組みづくりを ▶国の政策で自治体が負担を被る事業は、国に実態を伝え、改善見直しを

## 採決の結果

平成29年第1回定例会では、市長提出議案23議案と議員提出議案2議案、委員会提出議案1議案を審議し、採決の結果、すべて承認・同意・可決しました。

### ◆賛否が分かれた議案

起立(賛成)・・・○、着席・・・×、討論者・・・討、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名	創政会		創造				公明党		日本共産党		新政みらい	はつらつ	無										
		千葉	三浦	笹本	新良	田村	西塚	金子	矢馳	太田	町田	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	望月	大沢	猪股	内藤	土方	中村	大島	高橋	
4	個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	28年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	29年度狭山市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ◆全員が賛成した議案

市長提出議案/人事人権擁護委員候補者の推薦(千葉収氏、奥富孝一氏) 条例の一部改正市税条例等、廃棄物の処理及び再利用に関する条例、建築基準法等関係事務手数料条例 補正予算一般会計(第8号)、国民健康保険特別会計(第2号)、介護保険特別会計(第2号)、後期高齢者医療特別会計(第2号) 予算国民健康保険特別会計、都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計 その他専決処分の承認(28年度一般会計補正予算(第6号))、市道路線の認定、財産の処分 議員提出議案/精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書、国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書 委員会提出議案/委員会条例の一部改正

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## 入間中学校跡地利用に ランドデザインを

三浦 和也 (創政会)



### その他のテーマ

- ▶ 保育所や公園整備の可能性
- ▶ 地域交流施設(仮称)の利点
- ▶ 生活保護高齢被保護者の支援

#### ◆入間中学校跡地利用にランドデザインを

入間中学校跡地利用計画ができるまでに、基本方針やあり方を示す考えは。

**総合政策部長** 入間中学校跡地利用計画は、地域の実情に則した公共施設の適正配置などを念頭に、さまざまな視点から総合的な検討を行う。また、平成29年度中には基本的な方針を示すこ



現在の入間中学校跡地

とができるように取り組んでいく。

#### ◆地域交流施設(仮称)に法的な位置づけを

①公民館は社会教育法に基づく施設だが、入曾公民館更新事業で建てられる地域交流施設(仮称)は、どのような法律に基づくものか。

②市の条例の制定時期は。

③社会教育法に明記されている公民館の目的と事業は、地域交流施設(仮称)でも継承するのか。

**総合政策部長** ①地方自治法に基づき、市の条例により設置するもの。

②31年度中を予定している。

③これまでの公民館の機能を継承することとしており、新たに制定する条例などに目的と事業を盛り込みたい。



## 子どもの貧困・貧困の連鎖を なくすために

猪股 嘉直 (日本共産党)



### その他のテーマ

- ▶ 就学援助は入学前に
- ▶ 修学旅行費の前払いを
- ▶ 学校給食費補助制度を

#### ◆就学援助の対象を広げては

①新入学児童生徒への就学援助を入学前に実施できないか。また、国が就学援助の対象として認めているPTA会費が、市では対象外である。会費は卒業式に使う証書入れなどにも利用されており、対象にすべきでは。

②修学旅行費を後払いではなく、前払いにすることで、お小遣いを渡せる。実現を。

**学校教育部長** ①新入学児童の確定は新年度直前のため、小学校入学前の支給は難しい。中学校の新入学生徒は、早期に把握できるため、まずは中学校入学前の支給を検討したい。PTA会費は、学校間で差があるため対象としていない。

②中学校によっては分割で集金して、保護者負担に配慮しており、前払いは考えていない。

#### ◆学校給食の無償化で子育てを支援

給食費無償化の自治体は55ある。完全無償でなくとも、半額無償化や第2、第3子以降を無償化することはできないか。

**学校教育部長** 給食費の負担が困難な家庭には援助の措置が講じられており、完全無償化や半額無償化は、現在のところ実施する考えはない。



狭山市の学校給食



## 住民感情に配慮した まちづくりを

土方 隆司 (新政みらい)



### その他のテーマ

- ▶ シティプロモーションの推進

#### ◆入曾地区のまちづくり

①駅前整備や公民館の更新、学校跡地の活用など課題が多い入曾地区のまちづくりをどのように進めていくか。

②まちづくりにおいて考慮すべきは住民感情であるが、入間中学校跡地などの活用方法を早期に示せなかった理由は。

③入曾地区のまちづくりをどのように進めていくか、市長の所信を伺いたい。

**総合政策部長** ①入曾駅周辺整備は現在、基本計画の策定に取り組んでいる。入曾公民館は、地域住民からの要望などを踏まえ、入間中学校跡地に入曾地区地域交流施設(仮称)として建て替える方針であり、また、学校跡地全体の利用の方向性も検討し、早期に案を示したい。

②接続道路の両側拡幅の可能性や都市計画法上の用途制限、公共施設等総合管理計画との整合など、さまざまな検討が必要だったため。

**市長** ③厳しい財政状況の中、多くの困難を伴うことが予想され、今回が最後の機会と考えている。議論ではなく具体的に実現に向けて行動に移すべきだと考えている。



整備が望まれる入曾駅前



## アニメなど地域資源の活用で 活性化・観光振興を

金子 広和 (創造)



### その他のテーマ

- ▶ アニメ祭などへの見解
- ▶ 市内4駅の発車メロディー
- ▶ 債権の管理

#### ◆狭山市の魅力づくり

①市ゆかりのアニメ・漫画などを活用しては。

②御朱印をテーマにした「パワースポットめぐり」を。

③ご当地マンホールの作製を。

**環境経済部長** ①市にゆかりのある作品が制作された場合は、魅力づくりの資源の一つとして、



狭山市駅西口広場のARマンホール

利活用を検討していきたい。

②市内で御朱印がいただける神社や寺院を把握し、観光協会などと連携して観光振興や狭山市の魅力づくりを、検討していきたい。

**上下水道部長** ③狭山市のご当地マンホールは、市の花木鳥をデザインしたものを使用しているが、今後は現在使用しているデザインの見直しを含めて検討していく。

#### ◆債権の管理と回収

体制の強化や一元的な管理を図るため、統一基準となる「指針」や「条例」を制定すべきでは。

**市長** 地方自治法の債権管理の規定を補完する意義があることから、今後、先進自治体の事例などを参考に研究していく。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご確認ください。FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## 小中学生に キャリア教育の拡充を!

笹本 英輔(創政会)



### その他のテーマ

- ▶ 地域の方と連携を強化すべき
- ▶ 将来の具体的な夢を持たせる
- ▶ 将来は狭山で働く意向は

意欲が高まると確信している。  
③キャリア教育で育成すべき力の一つである自己理解、自己管理能力の具体例として、忍耐力やストレスマネジメント力の育成がうたわれているところであり、その指導に取り組んでいる。具体的には、我慢・発散・リラックスすることで、ストレスコントロールのスキルを学習している。



いつも大事なものは、次の夢!

### ◆キャリア教育の充実で荒波の中を生き抜く

①地域の諸団体や教育機関と連携した取り組みへの考えや実績は。

②将来の夢を個別具体的に持たせることが向学心を育むことにつながると考えるが、見解は。

③子ども達のストレス耐性を向上させる取り組みについての考えは。

**学校教育部長** ①キャリア教育は郷土狭山を基盤として実施することがより有効と考えており、各種団体や公民館などの社会教育機関、さらには各種行政機関と連携して、キャリア教育の機会や場の確保を図っていききたい。

②夢を持ち、そのために今何をするのかということがキャリア教育の原点であり、具体的な夢を持つことができれば、その実現のために学習



## 地域活性に向けた 観光資源の発信

千葉 良秋(創政会)



### その他のテーマ

- ▶ 世界規模の大会との連携
- ▶ 観光資源の魅力発信
- ▶ 電車・バス発着拠点インフラ整備

ような体験・実践は、将来の仕事感に好影響をもたらすが、どのように取り組むのか。

**環境経済部長** 工業や農業は、当市の貴重な観光資源になると認識しており、見る観光から体験する観光へとニーズが多様化する中、狭山らしさを体験できる工業や農業の観光資源について、その掘り起こしや利活用を検討したい。



七夕や花火のにぎわい

### ◆基本構想の構築

第4次狭山市総合計画において、観光の位置づけをどのように考え、主要な観光資源について、入り込み観光客と観光消費単価の拡充をどのように行うのか。

**環境経済部長** 前期基本計画に、市の地域資源を活用した観光の推進を掲げている。入り込み客や観光消費は、にぎわいを創出する観光拠点の整備や回遊性を重視した観光ルートの設定、情報発信の強化などを通じて拡充が図られると考え、まずは、現在整備を進めている入間川河川敷を拠点とした新たな事業展開を検討したい。

### ◆体験型の観光資源発掘

農業や工業において、子ども達が興味を覚え



## 地域で防災リーダーを 育てる取り組み

大沢 えみ子(日本共産党)



### その他のテーマ

- ▶ 地域の実情に即した防災機材
- ▶ 国保の広域化の影響
- ▶ スポーツ保険の窓口払い解消

### ◆災害に負けない狭山市にするために

①地域での防災リーダー育成の状況は。

②マンションなどでは階段避難用ストレッチャー、水害の地域ではゴムボートなど、地域の実情に応じた資機材が必要では。

**市民部長** ①自主防災組織の活性化が重要であり、防災リーダーの育成が不可欠である。さやま市民大学では、地域の防災リーダー養成講座を開催しており、これまで114人が受講している。また、埼玉県と市町村の共催で開催している自主防災組織リーダー養成講座には、平成25年度からの4年間で107人が受講している。

②地域の実情に合わせた資機材を配備することも必要と考えており、今後、自主防災組織の意向なども把握する中で検討したい。

### ◆広域化で国民健康保険はどうなるのか

国保の広域化で狭山市の保険税について、県の試算は。

**長寿健康部長** 各市町村から提出された数値に基づく県の試算は、一人当たりの保険税額が8万5,962円から11万5,040円へ、33.83%の増となっている。



階段避難用ストレッチャー



## 子育て世代の悩みに ワンストップで応じて

綿貫 伸子(公明党)



### その他のテーマ

- ▶ 保育コンシェルジュの配置を
- ▶ 積極的に不妊治療の助成を
- ▶ 新生児聴覚障害検査の推進を

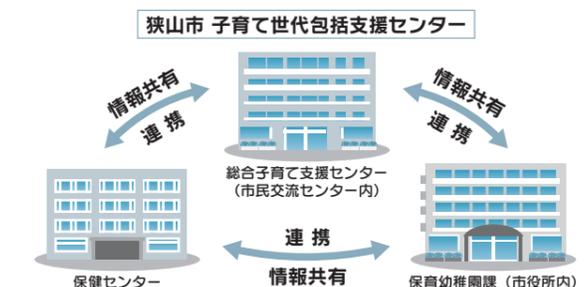
### ◆総合的相談支援をワンストップで

①昨年、児童福祉法が改正され、「子育て世代包括支援センターの設置」が法定化された。利用者支援にあたり、狭山市が目指す全体像は。

②相談を受けた場合の具体的な対応方法は。

**福祉子ども部長** ①保健師の専門性を生かした相談支援を行う母子保健型利用者支援事業を昨年9月から実施した。本年4月からは、総合子育て支援センターにおいて当事者目線で相談に応じる基本型利用者支援事業を実施するとともに、保育幼稚園課で特定型利用者支援事業を実施する。子育て世代包括支援センターでは、これらの実施機関が定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図り、緊密に連携する中で、子育て期における切れ目のない支援を行う。

②相談内容から利用者のニーズを分析し、最適なサービスを提案する。不足する情報は、子育て世代包括支援センターのネットワークを活用し、関係機関から情報を収集、ワンストップでのサービスの提供に努める。また、ほかの専門機関などを案内する場合、あらかじめ情報共有を行い、円滑にサービスを利用できるよう配慮する。



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。04-29953-1111 内線3313



# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## これまでの経験を 入曽駅周辺整備事業に!

西塚 和音 (創造)



### その他のテーマ

- ▶ 鉄道会社への説明と交渉は
- ▶ 事業の資金調達方法は
- ▶ 児童虐待防止の方策は

### ◆駅周辺のまちづくりに必要なこと

- ①これまで事業計画の立案はどのように進められたか。
- ②周辺住民への周知の方法は。
- ③合意形成の図り方は。

**都市建設部長** ①狭山市駅西口市街地再開発事業と狭山市駅東口土地区画整理事業は、整備の



狭山市駅周辺のまちづくりを入曽にどう生かすか!

手法や時期、内容など異なるが、それぞれ総合振興計画へ位置づけた上で、整備地区の状況を踏まえて、調査や権利者などの意向把握を行った。これをもとに事業計画案を作成し、法に基づき、都市計画決定や事業認可の手続きを経て、事業を進めてきた。

②地権者の方には、意向確認などを入念に行いながら、事業への協力依頼や事業の進捗に必要な交渉を行ってきた。また、周辺住民の方にも、説明会や広報紙、ホームページなどを活用して、事業の周知と理解に努めてきた。

③生活している方々の生活再建が第一であり、地区内の権利者の代表で構成する組織と協議、調整を重ねたり、個別に権利者を訪問したりしながら、事業に対する理解の促進を図ってきた。



## 市の財政分析と まちづくりの展望

大島 政教 (はつらつ)



### その他のテーマ

- ▶ 超過勤務手当
- ▶ 補助金見直し
- ▶ 嘱託職員・臨時職員の待遇

### ◆調和ある駅前整備と地域交流施設(仮称)

入曽地区地域交流施設(仮称)が、入曽駅前整備と調和のとれたものとなって若い世代が集い、高齢者が憩う施設となり、「次は自分の地区へ」と市民から要望がでるような施設にしては、

**市長** 入曽地区地域交流施設(仮称)の整備は、入曽駅周辺整備と併せ、地区の発展につながるプ



入曽駅周辺

ロジェクトとして計画どおり進める。策定中の公共施設等総合管理計画でも、公民館を地域の拠点として再編することとしており、今後はほかの公民館も、地域交流施設として考えていきたい。

### ◆市の財政分析

財政が厳しい中、平成27年度で91.1%だった経常収支比率を今後80%台へ引き下げていくのか。それとも90%台を維持してでも産業の活性化、市民福祉の向上を図っていくのか。

**市長** 今後も90%台で推移すると考えているが、持続可能なまちづくりを進めるには、健全な財政運営が求められている。引き続き経営的な視点を持ち、事務事業の見直しに取り組み、経常収支比率も極力引き下げられるよう努力する。



## 火山噴火から降灰までの 2時間の安全対策

矢馳 一郎 (創造)



### ◆噴火から2時間以内に取りべき行動

噴火から当市での降灰が想定される2時間後までに、安全なところに避難し、防塵対策が必要となる。この2時間に市民や職員の取るべき行動をどのように定めているのか。

**市民部長** 火山対策のタイムラインは策定していないが、降灰による被害が発生するおそれがある場合、県と連携し、情報の収集・伝達、避難所の開設・運営、医療救護、交通ネットワークやライフラインなどの応急復旧、農業者や工場などへの支援を地域防災計画に基づき実施する。

### ◆お茶の香りのアロマブランディング

「お茶香るまちさやま」の魅力を発信するため、公共施設などに茶の香りを漂わせる「アロマブ

ランディング」の実施についての見解は。

**環境経済部長** 地方創生加速化交付金を活用して、狭山市茶業協会と市内企業が共同研究し、高級煎茶とほうじ茶の2種類の香りのスティック型アロマが完成した。これを希望する市内茶業店舗や公共施設などに設置し、来訪者にほのかなお茶の香りでおもてなしをする予定である。



火山灰に備えてマスクとゴーグルの準備を



## 住民のための公共施設は 規模よりも配置重視で

望月 高志 (日本共産党)



### その他のテーマ

- ▶ 入曽公民館更新事業の今後
- ▶ 公共施設等総合管理計画
- ▶ 公共施設の長寿命化へ

### ◆公民館更新事業の今後

①入曽公民館更新事業で建てられる施設の現段階での規模は。

②公共施設等総合計画(案)での公共施設とインフラの考え方の違いは。

③これまでの公民館機能をどのように継承していくのか。



**生涯学習部長** ①入間中学校跡地の西側部分を活用して、建物の規模は、2階建てで高さ10メートル以下とし、延べ床面積は1,800平方メートル程度、1部屋の面積は最大で200平方メートル未満としている。

**総合政策部長** ②公共施設は、機能の集約化・複合化などにより、サービスの質を落とさずに総面積の削減を図り、財政負担を軽減することを基本としている。

インフラは、統廃合などが困難なため、長寿命化を基本として維持管理に要する経費を節減していく。

③新たに制定する条例などの中に、今まで公民館が担ってきた社会教育や生涯学習に関する内容を盛り込んでいきたい。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。  
04-2953-1111 内線3313



## 6月定例会の予定

- 6月8日(木) 開会、議案説明
- 6月12日(月) 議案質疑
- 13日(火)・14日(水) 常任委員会
- 16日(金)～20日(火) 一般質問
- 26日(月) 委員長報告、採決、閉会

土・日曜日・祝日を除く。日程は変更になる場合があります。  
問合せ議会事務局へ ☎ 04-2953-1111 内線 3311  
FAX 04-2955-2396

本会議が傍聴しやすくなりました  
お気軽に傍聴にお越しください



- 手話通訳者や要約記者を派遣  
手話通訳は傍聴希望日の7日前までに、要約筆記は14日前までに、議会事務局へお申込みください。詳しくはHPをご覧ください。
- 小さなお子さん連れでも傍聴できます
- インターネットを使ったライブ配信を開始  
6月定例会からパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどで、議会の本会議がご覧いただけるようになります。

## 編集後記

さわやかな春の風を感じる季節となりました。市内の木々も新緑へと移り変わっています。  
3月定例会では、狭山市駅西口の旧中央公民館の跡地利用が決定し、また入曽駅の整備計画の中間報告もありました。  
狭山市議会では2年に一度、常任委員会の委員が代わります。市民のみなさんの代表として、まちづくりをはじめ、福祉や教育、防災など、様々な課題に、気持ちを新たに取り組んでいきます。

(大沢 記)

次回のさやま議会だより発行日は  
平成29年8月10日です。

## 広報委員会

委員長	笹本 英輔
副委員長	千葉 良秋
委員	西塚 和一
委員	矢馳 隆司
委員	土方 貫子
委員	綿貫 伸子
委員	大沢 えみ
委員	中村 正義

(平成29年4月20日現在)

## 新たに議長・副議長に就任



齋藤 誠 議長



太田 博希 副議長

4月21日(金)に開催された臨時市議会で、齋藤誠議長と太田博希副議長を選出しました。

## 市議会の活動

### 議員研修会を開催 議員力を磨いて条例を



政策条例づくりに向けて  
全議員が熱心に受講

3月17日(金)、「議員提案による政策条例」をテーマに、元衆議院法制局参事の吉田利宏氏を講師に迎え、議員研修会を開催しました。条例の構成、策定までの取り組み方など、豊富な事例を交えて分かりやすく解説いただきました。

### 「不老川をきれいにする会」 の皆さんと意見交換



互いの思いを伝える会議に

建設環境委員会が、3月8日(水)に同会の会員14人と行った意見交換会では、これまでの不老川浄化活動の経緯や今後の活動などについて話を伺い、その後、活発に意見が交わされました。(関連記事は7ページ)

## 表紙の写真 各常任委員会の取り組みと市内視察

総務経済委員会は、昨年9月に不老川氾濫箇所と被害状況を視察(写真左上)。文教厚生委員会は、7月に中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」の実施状況を視察(写真右中)。建設環境委員会は、6月に新設道路の認定箇所を視察(写真左下)。各委員会は、市政の課題解決や行政サービスの向上のために活動しています。